

「体外受精における精子頭部振幅の変化と受精率についての後ろ向き研究」へのご協力をお願い

第二協立病院 ART センターでは下記の内容で後ろ向き研究を実施いたします。診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、末尾の連絡先にご連絡ください。

**【研究課題名】**

体外受精における精子頭部振幅の変化と受精率についての後ろ向き研究

**【研究機関名および研究代表者名】**

研究機関：第二協立病院 ART センター

研究代表者：生殖医療科 山口賢一

担当業務：データ収集、データ解析、匿名化

**【研究の目的と意義】**

ART において体外受精 (C-IVF) を選択する際の精液所見に明確な基準はなく、各施設の判断で実施されているのが現状です。精子濃度や運動率が重要な因子ですが、受精率の予測には不十分です。

今回われわれは、精子運動解析装置 (SMAS ; Sperm Motility Analysis System, ディテクト社) を用いて精子の運動の質的データから受精率の予測が可能か後方視的に検討を行い、受精方法の選択の指標のひとつとすることを目的としています。

**【研究期間】**

2023 年 10 月～2024 年 5 月

**【対象の患者さん】**

2023 年 10 月 1 日から 2024 年 5 月 31 日までに ART センターにて採卵・体外受精を行った患者さん

**【研究の方法】**

対象期間に採卵・体外受精を実施した方の臨床成績を収集します。これらのデータは匿名化した状態で収集し解析を行います。新たに治療、検査を実施することはございません。

情報：年齢、SMAS データ、C-IVF の受精結果

**【外部への情報提供・利益相反】**

なし

**【個人情報の取り扱い】**

研究に用いる患者個人情報の保護を行います。研究報告により個人が特定されることはございません。

《問い合わせ先》

研究責任者：山口賢一

〒666-0033 兵庫県川西市栄町 5 番 28 号

第二協立病院 ART センター

Tel. 072-758-1123(病院代表)